

## ○令和元年度教育事業

### 「ボランティア養成塾～夏編～」 令和元年8月8日（土）～9日（日）

#### ◆目的

青少年の体験活動を支援するボランティアを行う上で必要な知識・技能について学ぶとともに、青年層の自立を促し、生きがいを見出し生き抜く力を磨く機会とします。

#### ◆参加実績（募集40名）参加者数：19名



#### ◆参加者実績（募集40名）参加者数：19名

・高校生 19名

#### ◆プログラム

##### ① 講義【子どもたちの「いま」を知ろう】

講師：国立大雪青少年交流の家 主任企画指導専門職 是安 聡一郎  
・今日の青少年教育の課題と体験活動の必要性について理解を深めた。

##### ② 講義・演習【子どもの安全を守るために】

講師：国立大雪青少年交流の家 企画指導専門職付 久保 美穂  
・当施設の活動プログラムを用い、野外体験活動のリスクマネジメントについて理解を深めた。

##### ③ 実習【安全管理について学ぼう】

講師：国立大雪青少年交流の家 主任企画指導専門職 是安 聡一郎  
・野外炊事活動をとおして、安全な活動に関する知識や技術を身に付けた。

##### ④ 講義・演習【相手のことを思うコミュニケーション】

講師：国立大雪青少年交流の家 事業推進係 兼 企画指導専門職付 小林 昌博  
・相手に自分の思いを伝えるための手法について演習をしながら理解を深めた。

##### ⑤ 演習【青少年教育施設の「いま」を知ろう】

講師：国立大雪青少年交流の家 企画指導専門職 安達 義徳  
・青少年教育施設で実施されている教育活動について、理解を深めた。

##### ⑥ 講義・演習【ボランティア活動の実際】

講師：国立大雪青少年交流の家 企画指導専門職 安達 義徳

- ・退所点検等の施設運営に係る活動を実際に行い、理解を深めた。

#### ⑦講義【教育施設ボランティアの意義】

講師：国立大雪青少年交流の家 企画指導専門職 佐藤 麻友美

- ・ボランティア活動の意義について理解するとともに、ボランティア活動における心構えや留意点を学んだ。

#### ⑧まとめ

講師：国立大雪青少年交流の家 企画指導専門職 安達 義徳

- ・法人ボランティア登録制度について理解を深めた。

#### ◆成果

- 1泊2日の研修の中で、参加者が実際に体験し、学びを深める演習を多く設定した。また、参加者同士やスタッフが交流する場面を多く設定し、学びと活動が両輪で働くようなプログラム配置をすることで、参加者の学びをより深めることができた。
- 受講者19名全員が法人ボランティア登録を行った。内2名については、登録後に本施設の主催事業において継続的にボランティア活動を行っている。

#### ◆参加者の声

- この2日間の体験はすごく良い体験ができました。特に心に残ったのが、「相手を想うコミュニケーション」がすごく相手に対しての言葉遣いや表情だけで変わることがわかりました。もっと相手と話すときに表情など大切にしていきたいと思いました
- すべての講話において、何かしら「おお！」と感銘を受ける展が1つは必ずあったので、とてもうれしかったです。特に、講師の方の私たちの発言を拾って話につなげる力に驚き、尊敬しました。私もこれからボランティアを始め、様々な活動を通し、わかりやすく面白くしっかり話を伝えられる人になりたいです。
- 今回の体験は最初は、何かあまりわからなかったのですが、大切なことをたくさん学べて、人生初の炊事も楽しめて、夏休み最高の思い出になりました。冬のバージョンもあったら、是非呼んでください。私は、介護士になりたいので、その夢に向かってボランティアに積極的に参加したいと思います。それか、あだっちーや、まこさん、さとさと、コリーさんの話を聞いていたら、こういう仕事もいいかもと今思い始めています。貴重な体験ありがとうございました！

#### ◆事業運営のツボ・工夫・反省

- 本事業については、外部から講師を招聘せず、企画指導専門職のみで講師を行い、運営を行った。その結果、参加者と講師との距離が近く、より綿密な関係となり、今後の事業のボランティア招聘へとつながった。
- 事業担当者がいくつかの高校のボランティア部を訪問し、事業の案内を直接行った。その結果、訪問先の高校から多くの参加をいただいた。今後も継続して行いたい。

#### ◆事業運営費

・通信運搬費	1, 960円
・印刷費	8, 046円
・燃料費	5, 443円
合計	15, 449円